

LIXIL の成長戦略における知的財産部門の貢献

Gemini Deep Research

LIXIL は、「世界中の誰もが願う、豊かで快適な住まいの実現」をパーパス（存在意義）に掲げ、水まわり製品・建材製品の開発・販売で世界 150 カ国以上で事業を展開するグローバル企業です¹。LIXIL の知的財産部門は、このパーパスの実現を支える重要な役割を担っており、約 2 万件の特許、商標、意匠からなる知的財産ポートフォリオを戦略的に管理することで³、事業の成長に貢献しています。

1. LIXIL の知的財産部門

LIXIL の知的財産部門は、CTO（最高技術責任者）が統括するテクノロジーファンクションに属し、東京と愛知にオフィスを構えています⁵。知的財産部門は、「管理部門」から「戦略組織」へと役割を進化させており⁵、事業戦略への参画、知財ポートフォリオの構築、知財情報の活用など、より戦略的な活動に注力しています。

(1) 知的財産部門の役割と活動内容

知的財産部門のミッションは、「経営戦略の実行を強化する知的財産権の取得・活用・リスクマネジメントを支援し、持続的な競争力に貢献すること」です³。このミッションを達成するために、以下の 3 つの柱に基づいて活動しています³。

- **適切なリスクマネジメント体制:** 第三者の知的財産権を尊重し、事業リスクを回避・防止するための仕組みを構築しています。具体的には、製品開発の初期段階から知的財産権の調査分析を行い、訴訟リスクなどを未然に防ぐ取り組みを行っています。
- **差別化価値を守る知財マネジメント:** 技術・デザイン・ブランドといった知的財産への投資を継続的に行い、知的財産権を取得・活用することで、LIXIL の差別化要素を守り、競争優位性を維持しています。
- **知財インテリジェンスの活用:** IP ランドスケープなどの手法を用いて知的財産情報を分析し、経営戦略・事業戦略に活かしています。

これらの 3 つの柱は、それぞれが独立して存在するのではなく、相互に連携し、LIXIL の競争優位性の構築に貢献しています。例えば、リスクマネジメント体制は、知的財産権に関する訴訟リスクを回避することで、コスト削減効果をもたらします。また、差別化価値を守る知財マネジメントは、模倣品対策などを通じてブランド価値を高め、収益増加に貢献します。さらに、知財インテリジェンスの活用は、これらの活動を効率的に推進するための基盤となります。

LIXIL は、これらの活動に加えて、標準化戦略も推進しています⁶。差別化された価値については知的財産権で保護する一方で、抗菌技術など、社会的なインパクトが期待される先進技術については、標準化活動を通じて普及を促進しています。

(a) 組織構造と人員規模

知的財産部門は、グローバルで約 2 万件の知的財産ポートフォリオを管理しており³、グローバル共通の知的財産管理プラットフォームを導入するなど、ガバナンス体制を強化しています³。知的財産部門の組織はグローバル組織へと強化されており⁷、海外の知的財産機能を本社の知的財産部門に統合しています⁸。2019 年には、世界規模で事業を展開する上で必要となる知財業務基盤として、アナクア社の AQX プラットフォームを採用し⁹、グローバルな知財ポートフォリオの一元管理を実現しています。

人員規模は、法務部全体で 56 名、そのうち知的財産管理室が 33 名です¹⁰。グローバルで見ると、知財関係組織のリソースの約 75%が日本、残り 25%が海外に配置されています⁵。

(b) 知的財産に関する活動内容

知的財産部門は、特許出願、商標登録、意匠登録、技術調査、契約交渉、訴訟対応など、幅広い知的財産活動を行っています³。特許出願については、日本の技術開発力が大きな強みとなっており、特許出願の約 7 割を日本で開発した技術が占めています³。2023 年には窯業分野において特許資産規模ランキングで 1 位を獲得しています¹¹。商標登録においても、2024 年には 57 件の商標権を取得するなど¹²、積極的にブランド保護を行っています。意匠登録に関しても、2023 年には 134 件の意匠登録を行っています¹³。

(c) 知的財産戦略の策定と実行

知的財産部門は、各事業部門の知的財産戦略と事業部横断的な知的財産戦略の策定を支援しています³。また、事業部の知的財産戦略の進捗状況を年 1 回、執行役会および取締役会に報告しています³。知的財産戦略の実行においては、研究開発部門、事業部門と緊密に連携し³、グローバル共通の知的財産管理プラットフォームを活用することで、知的財産権の強化と活用を図っています³。

2. LIXIL の成長戦略における知的財産の役割

(a) LIXIL の事業分野と成長戦略

LIXIL は、ウォーターテクノロジー事業、ハウジングテクノロジー事業を中核に、ビルディングテクノロジー事業、流通・小売事業、住宅・サービス事業等など、幅広い事業分野で事業を展開しています¹⁴。成長戦略としては、「LIXIL Playbook」に基づき、日本事業の最適化と新たな事業成長の追求、ウォーター事業におけるグローバルでの成長加速、ハウジングテクノロジー事業における差別化と成長の加速、などを掲げています¹⁶。また、ESG 経営を重視し、「グローバルな衛生課題の解決」「水の保全と環境保護」「多様性の尊重」を 3 つの優先取り組み分野としています¹⁸。

(b) 成長戦略における知的財産の重要性

LIXIL は、魅力ある差別化された製品やサービスを開発し、顧客に新たな価値を提供すること

で、世界中のエンドユーザーの豊かな住生活の実現を目指しています。そのために、人的資本と並んで、技術、デザイン、ブランド等の知的財産への継続的な投資を重要な経営戦略として位置付けています³。知的財産戦略は、「LIXIL Playbook」で示された成長戦略を支える重要な基盤の一つであり¹⁹、長期にわたる事業優位性と高収益性を実現する競争力を維持するために、知的財産権の取得・活用・リスクマネジメントを推進しています⁷。

(c) 知的財産を活用した競争優位性の構築

LIXIL は、知的財産権の取得・活用を通じて、競争力の源泉である差別化要素の模倣を防ぎ、事業優位性を確保しています³。特に、グローバルで展開する唯一無二のブランド・ポートフォリオは、他社の追随を許さない強みとなっています³。

LIXIL は、デザイン性の高い製品開発にも力を入れており、GROHE ブランドはその代表例です²⁰。GROHE は、優れたデザインと革新的な技術を融合させた製品を開発することで、世界中の顧客から高い評価を得ています。知的財産部門は、GROHE のデザインを保護するとともに、他のブランドへの展開を支援することで、LIXIL 全体のブランド価値向上に貢献しています。

また、IP ランドスケープを活用することで、事業リスクの回避と競争優位性の確保を図っています³。

3. LIXIL の知的財産部門の貢献実績

(1) 知的財産の取得・活用による事業への貢献

LIXIL の知的財産部門は、積極的に知的財産権を取得・活用することで、新製品開発、市場開拓、ブランド強化などに貢献しています³。

(a) 新製品開発

LIXIL は、日本で開発した技術や知財を海外に移転し、グローバルに製品展開することで、事業シナジーを創出しています⁷。例えば、タッチレス水栓やシャワートイレなどの技術は、日本で開発された後、海外製品にも展開されています⁷。また、AI を活用した施工イメージ検索機能を導入するなど²¹、デジタル技術も積極的に活用しています。

開発途上国向けの簡易式トイレシステム「SATO」は、知財を現地パートナーにライセンス供与することで、バングラディッシュで黒字化を達成するなど、社会課題の解決にも貢献しています⁷。

(b) 市場開拓

LIXIL は、知的財産を活用することで、既存市場における競争力を強化するとともに、新市場の開拓にも取り組んでいます。例えば、泡シャワー「KINUAMI」や布製浴槽「bathtope」など、従来のイメージを覆す革新的な製品を開発し、新たな顧客ニーズに応えています⁶。ま

た、「SATO」のような社会課題解決型の製品を通じて、新興国市場への進出も進めています²²。

(c) ブランド強化

LIXIL は、グローバルで展開するブランドポートフォリオを強化することで、競争優位性を維持しています。2011年には、GROHE が Red Dot Award において「デザインチーム・オブ・ザ・イヤー」を受賞するなど、高いデザイン力も強みとなっています²⁰。また、模倣品対策にも積極的に取り組み、浄水カートリッジの模倣品撲滅宣言を発出するなど²³、ブランド価値の保護に努めています。模倣品対策としては、EC サイトと連携した模倣品削除活動、純正品の直販化、税関での水際対策、中国での模倣品生産拠点の摘発など、様々な対策を講じています²³。

(2) 知的財産による収益増加、コスト削減、リスク回避

LIXIL は、知的財産を活用することで、収益増加、コスト削減、リスク回避といった効果を実現しています³。

(a) 収益増加

知的財産権によって差別化された製品やサービスは、価格競争に巻き込まれにくく、高い収益性を実現することができます³。また、ブランド価値の向上は、顧客ロイヤリティの向上にもつながり、長期的な収益増加に貢献します。

(b) コスト削減

知的財産部門は、リスクマネジメント体制を構築することで、訴訟などの法的リスクを未然に防ぎ、コスト削減にも貢献しています³。また、知的財産情報の分析を通じて、研究開発の効率化を図り、開発コストの削減にもつなげています。

(c) リスク回避

LIXIL は、知的財産権に関するリスクアセスメントを製品開発プロセスに組み込むことで、訴訟などの法的リスクを回避しています³。また、模倣品対策にも積極的に取り組み、ブランド価値の毀損リスクを抑制しています。

(3) 知的財産部門の受賞歴

LIXIL の知的財産部門は、その活動が外部からも高く評価されています。

Award	Year	Description
知財功労賞 特許庁長官表彰	令和 6 年度	知的財産部門の組織強化、IP ランドスケープの活用、発明者表彰制度など、知的財産権制度の積極的な活用が評価されました ⁷
地方発明表彰 発明奨励賞	令和 6 年度	中低層用カーテンウォール型フロントサッシ「ML シリーズ」と陶器一体成型の機能性トイレが発明奨励賞を受賞しました ²⁴

4. LIXIL の知的財産部門の今後の課題と展望

(1) 知的財産を取り巻く環境変化

- グローバル化の進展：海外市場における知的財産権の保護・活用がますます重要になっています。
- デジタル化の加速：AI、IoT などの技術革新により、新たな知的財産の創出と保護が必要となっています。
- 法規制の強化：知的財産権に関する法規制が強化される傾向にあり、コンプライアンスの徹底が求められています。

(2) LIXIL の知的財産部門が取り組むべき課題

- グローバルな知的財産戦略の強化：海外市場における知的財産権の取得・活用を強化し、グローバル競争力を強化する必要があります。
- デジタル技術への対応：AI、IoT などの新技術に対応した知的財産戦略を策定し、新たなビジネス機会を創出する必要があります。
- 人材育成：知的財産に関する専門知識を持つ人材を育成し、知的財産部門の体制を強化する必要があります。

(3) LIXIL の知的財産部門の将来展望

LIXIL の知的財産部門は、今後も「世界中の誰もが願う、豊かで快適な住まいの実現」というパーパス達成に貢献していくために、以下の取り組みを強化していくと考えられます。

- **事業戦略との連携強化**: 知的財産戦略を事業戦略とより緊密に連携させ、事業の成長に貢献する知的財産活動を進めていく。

- **オープンイノベーションの推進:** 社外との連携を強化し、新たな技術やアイデアを獲得することで、イノベーションを促進していく。
- **ESG への貢献:** 知的財産を活用することで、環境問題や社会課題の解決に貢献していく。具体的には、「グローバルな衛生課題の解決」「水の保全と環境保護」「多様性の尊重」といった ESG の優先取り組み分野において¹⁸、知的財産権の取得・活用を通じて貢献していくことが期待されます。例えば、水資源の節約に貢献する技術や、衛生環境の改善に役立つ技術を開発し、その技術の特許権などで保護することで、LIXIL の ESG 経営を推進することができます。

5. 結論

LIXIL の知的財産部門は、適切なリスクマネジメント、差別化価値の保護、知財インテリジェンスの活用という 3 つの柱に基づき、事業の持続的な成長と競争優位性の確保に貢献しています。知的財産権の取得・活用を通じて、新製品開発、市場開拓、ブランド強化などを推進し、収益増加、コスト削減、リスク回避といった効果を実現しています。今後も、グローバル化、デジタル化といった環境変化に対応しながら、LIXIL の成長戦略を支える重要な役割を担っていくと考えられます。

特に、AI や IoT といったデジタル技術の進化は、LIXIL の事業に大きな影響を与える可能性があります。知的財産部門は、これらの技術を活用した新製品開発やサービス創出を支援するとともに、新たな知的財産リスクにも対応していく必要があります。また、世界的な潮流として、企業の ESG への取り組みがますます重要になっています。LIXIL の知的財産部門は、ESG の観点も踏まえた知財戦略を策定し、持続可能な社会の実現に貢献していくことが期待されます。

引用文献

1. LIXIL グループ概要, 2月 14, 2025 にアクセス、
https://www.lixil.com/jp/about/pdf/group_profile_jp.pdf
2. (株)LIXIL の新卒採用・会社概要 | マイナビ 2026, 2月 14, 2025 にアクセス、
<https://job.mynavi.jp/26/pc/search/corp94247/outline.html>
3. LIXIL の知的財産戦略の考え方 | 経営方針・体制 | 株主・投資家向け情報, 2月 14, 2025 にアクセス、
https://www.lixil.com/jp/investor/strategy/jp_index.html
4. 【事業等のリスク】 - LIXIL, 2月 14, 2025 にアクセス、
https://www.lixil.com/jp/investor/strategy/pdf/JP_business_risks.pdf
5. LIXIL のグローバル事業戦略を支える「戦略組織」としての知財部門 新たな役割と進化の道筋とは? | Biz/Zine, 2月 14, 2025 にアクセス、
<https://bizzine.jp/article/detail/7869>
6. 社会や環境に貢献し、イノベーションを生み出す。「知的財産戦略」をテーマに、特許庁長官との意見交換会を実施 - PR TIMES, 2月 14, 2025 にアクセス、
<https://prtimes.jp/story/detail/ZrXkWkiPgPx>
7. 令和 6 年度「知財功労賞」において「特許庁長官表彰」を受賞 - Newsroom - LIXIL, 2月 14, 2025 にアクセス、
<https://newsroom.lixil.com/ja/2024041901>
8. 株式会社 LIXIL, 2月 14, 2025 にアクセス、
<https://finance-frontend-pc-dist.west.edge.storage-yahoo.jp/disclosure/20240625/20240619531546.pdf>
9. LIXIL のグローバル知財管理業務の合理化をアナクア社の AQX プラットフォームがサポート、

2月14, 2025にアクセス、

<https://www.anaqua.com/ja/resource/lixil%E3%81%AE%E3%82%B0%E3%83%AD%E3%83%BC%E3%83%90%E3%83%AB%E7%9F%A5%E8%B2%A1%E7%AE%A1%E7%90%86%E6%A5%AD%E5%8B%99%E3%81%AE%E5%90%88%E7%90%86%E5%8C%96%E3%82%92%E3%82%A2%E3%83%8A%E3%82%AF%E3%82%A2/>

10. 株式会社 LIXIL 法務部【法務最前線】 | Attorney's MAGAZINE Online, 2月14, 2025にアクセス、
https://legal-agent.jp/attorneys/workfront/workfront_vol31-2/

11. 【窯業】特許資産規模ランキング 2024 トップ3はLIXIL、AGC、日本ガイシ - パテント・リザルト, 2月14, 2025にアクセス、

<https://www.patentresult.co.jp/ranking/scale/2024/ceramic.html>

12. 株式会社 LIXIL の商標一覧 - IP Force, 2月14, 2025にアクセス、

<https://ipforce.jp/shohyo/apview?idDLAp=46732&y=2024&p=3>

13. 020212.pdf, 2月14, 2025にアクセス、

<https://www.jpo.go.jp/resources/report/nenji/2024/document/index/020212.pdf>

14. LIXIL の事業 | 株式会社 LIXIL, 2月14, 2025にアクセス、
<https://www.lixil.com/jp/business/>

15. LIXIL グループ概要 2018-19, 2月14, 2025にアクセス、

https://www.lixil.com/jp/about/pdf/LIXIL_group_profile_jp.pdf

16. インパクト戦略 - 株式会社 LIXIL, 2月14, 2025にアクセス、

https://www.lixil.com/jp/impact/strategy/impact_strategy.html

17. デジタルトランスフォーメーション (DX) の取り組み | 経営方針・体制 | 株主・投資家向け情報 - LIXIL, 2月14, 2025にアクセス、

https://www.lixil.com/jp/investor/strategy/digital_index.html

18. LIXIL を知る | サステナブルな未来の実現に向けて, 2月14, 2025にアクセス、

<https://www.lixil.co.jp/corporate/recruit/about/sdgs/>

19. 経営の基本的方向性 | 経営方針・体制 | 株主・投資家向け情報 | 株式会社 LIXIL, 2月14, 2025にアクセス、
<https://www.lixil.com/jp/investor/strategy/strategy.html>

20. LIXIL が加速するデザインとブランドの変革 | ストーリー, 2月14, 2025にアクセス、

https://www.lixil.com/jp/stories/stories_27/

21. 次世代 AI による施工イメージ検索機能を搭載 商品検索をサポートする「プロダクトサーチ エクステリア版」展開開始 | 株式会社 LIXIL のプレスリリース - PR TIMES, 2月14, 2025にア

クセス、
<https://prtimes.jp/main/html/rd/p/000000689.000015099.html>

22. 株式会社 LIXIL, 2月14, 2025にアクセス、

https://www.lixil.com/jp/investor/ir_event/pdf/J_20240402_transcript_LIXIL.pdf

23. 「浄水カートリッジ模倣品撲滅宣言」を发出 | 株式会社 LIXIL のプレスリリース - PR TIMES, 2月14, 2025にアクセス、

<https://prtimes.jp/main/html/rd/p/000000615.000015099.html>

24. 令和6年度地方発明表彰にて、フロントサッシとトイレが発明奨励賞を受賞 - Newsroom, 2月14, 2025にアクセス、
<https://newsroom.lixil.com/ja/2024110701>